

基本情報

【受審事業所情報】

事業所名称	鹿児島みなみ保育園
運営法人名称	社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
福祉サービスの種別	保育所
代表者氏名	理事長 上荒磯 継男
管理者氏名	施設長 福留 義昭
定員	60人
事業所所在地	〒890-0068 鹿児島市 東郡元町 18番3号
電話番号	(099) 253-3145
FAX番号	(099) 253-3146
ホームページアドレス	http://www4.synapse.ne.jp/k-minami/
電子メールアドレス	kago-minami@po3.synapse.ne.jp

【評価機関情報】

第三者評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
鹿児島県認証番号	鹿児島 06-02号
訪問調査日	平成19年 3月 8日(木)
評価結果決定年月日	平成19年 6月 12日(火)
評価調査者氏名	

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する 事業所の同意の有無	有
-------------------------	---

第三者評価結果の概要

評価機関総合コメント

一時保育事業や特定保育事業への取り組みをはじめとして、保育サービスの質向上に努力されており、その実績も確認できる。障害児保育への取り組みや障害者の雇用など障害者の就労支援と共生社会の実現にむけた取り組みも評価できる。40年を越す築年数の建物でハード面の制約の中、限られたスペースを有効に活用するための職員の皆さんの工夫や努力が、随所に伺われる。

立地などにも比較的恵まれており、地域特性にもよく配慮されている。今後のますますの充実と発展を期待したい。

特に評価の高い点

管理者の責任は明確にされ、コンプライアンスやサービスに質の向上への取り組みなど、管理者のリーダーシップが十分発揮されている。福祉の動向や地域の特性・ニーズ等および経営状況を適切に把握し、中長期計画及び事業計画に適切に反映して職員に周知する仕組みづくりがなされている。また、保育固有のサービス提供の内容についてよく努力しており、その実績も評価される。ハード的な阻害要因にも知恵と工夫で対応されており、その取り組みは評価できる。保育計画と実施状況も概ね連動しており、職員の熱意と姿勢が高いことが確認できる。

改善を求められる点

保育計画とその実施状況はおおむね適切であるが、保育計画の策定にあたり必要なアセスメントが実施されていない。さらに、保護者とともに保育計画策定に取り組むことも期待される。また、標準的なサービス実施方法の具体的なマニュアル化が望まれる。

大項目別の評価概要

I-1 理念・基本方針

保育の理念・基本方針は明文化され、整合性も図られている。職員に対しては資料を配布し、職員会議・保育部会で説明し、保護者に対しても年2回の資料配布により説明がなされている。職員に対しては理解度の確認にまで踏み込んだ取組みを望みたい。また、理念及び基本方針を地域に向けて情報発信する取組みが期待される。

I-2 計画の策定

中長期計画は、現状分析に基づき課題や問題点を明らかにし、その解決に向けた具体的なものとなっている。中長期計画・事業計画の評価・見直しも行われ、周知状況の確認もなされている。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

管理者の役割と責任は「組織規則」に明文化され、職員及び保護者に対する周知が図られている。保護者からのアンケート及び職員の意見も含めての自己評価も実施され、保育サービスの向上に努めている。

II-1 経営状況の把握

児童福祉事業等の動向や地域の特性・ニーズ等は適切に把握され、中長期計画及び事業計画に適切に反映されている。定期的に在園児の推移や経営状況を把握し、改善策を検討の上で職員にも周知する仕組みづくりがなされている。

II-2 人材の確保・養成

人員体制に関する具体的なプランは明確になっており、人事考課も実施されているが、人事考課基準等の職員への開示は行われていない。職員に求める基本姿勢や専門性は明示されているが、個別の職員の知識・技術水準・技能の必要性等を把握した上での研修計画策定にはなっていない。実習生受入に関するマニュアルの整備は適切に行われているが、受入の意義・方針等は明文化されておらず、職員への説明は十分とは言えない。実習用のプログラムの整備にも取り組んでいただきたい。

II-3 安全管理

事故対応マニュアルの整備と職員への周知、職員参加による定期的な安全確保に対する検討会の実施、事故事例集の整備など、事故防止に前向きに取り組んでいる。しかし、事故発生の変因分析及び防止策の検討および職員に対しての研修は十分に実施できていないと言えない。

II-4 地域との交流と連携

活用できる社会資源や地域情報の収集、保護者等への情報提供は適切に実施されている。また、関係機関との連携に基づく具体的な福祉・子育てニーズの把握に積極的に取り組み、中長期計画及び事業計画に反映させている。しかし、地域との交流やボランティア受入の体制整備、保育に関する社会資源の機能や連絡方法の体系的な整備、関係機関や団体との定期的な連携の機会確保は十分とは言えない。

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

利用者尊重の方針は明示され適切であるが、個々のサービスの標準的な実施方法が充実しているとは言い難い。利用者満足の上を目指す姿勢は文書で確認でき、概ね適切である。苦情解決の体制は整備され、適切な対応が行われている。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

サービスの質向上への取り組みは、数年にわたり自己評価を行い、その結果を分析・検討され高く評価できる。個々のサービスの実施については、具体的な標準が示されているとはいえないので検討を期待したい。一人ひとりの記録は整備され、計画に沿ったサービスがおおむね実施され、記載内容も概ね適切である。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

サービスの選択に必要な情報の提供は適切に行われ、見学受け入れ・体験利用など適切である。保育は措置サービスであるが、サービス開始にあたり、説明と同意をとる方向性が望ましいと思料されるので検討されたい。他の保育園への変更にあたり、園児の状況を文書で引き継いだり、担当を明確にすることが望まれる。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

組織で定めた統一した様式のアセスメントは行われていないので、実施を検討されたい。一人ひとりのサービス実施計画はあり、よく工夫され実施しているが、部門横断的な関係職員の関与や保護者を交えた計画には至っていない。今後の取り組みを期待したい。

A-1 子どもの発達援助

保育計画と基本方針との関係はあるが、意識的に対応する仕組みになっているとは言い難い。指導計画の評価はあるが、定期的ではないので検討を期待したい。園児の健康管理は、「健康チェック表」や職員の対応で実質的に行われていると評価するが、具体的な健康管理に関するマニュアルがないので見直されたい。健康診断・歯科健診は実施され確実に対応している。感染症発生時の対応マニュアルは在り、その内容も妥当であるが、感染症発生時の保護者への通知を適切に実施されたい。食事を楽しむ工夫、喫食状況の把握など適切である。献立等も工夫している。なお、ハード的要因が関係するものは評価がbがつくが、よく工夫され努力されている。

A-2 子育て支援

送迎時の対話や連絡帳の活用など情報交換に努めている。記録も残されており、保護者の保育参加の機会をつくるなど適切である。

A-3 安全・事故防止

調理場の衛生管理についてはマニュアルがあり、毎月保育部会で検討されている。リスクマネジメントに関するマニュアルが作成され、事故報告書に基づき、類似事故の未然防止策も策定されている。なお、ヒヤリハット報告制度が整備されていないので、検討されたい。

A-4 子どもの発達・生活援助

体罰防止等よく取り組んでいる。

評価細目の第三者評価結果

児童福祉分野の評価基準

判断基準項目	評価結果
--------	------

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針	
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b

評価機関コメント

保育の理念・基本方針は明文化され、整合性も図られている。内容も具体的で分かりやすいものであり、職員の行動規範になるものと判断できる。職員に対しては資料を配布され、職員会議・保育部会で説明がなされているので、更に理解度の確認にまで踏み込んだ取組みを望みたい。保護者に対しても年2回の資料配布と説明が行われている。今後は理念及び基本方針を地域に向けて情報発信する取組みが期待される。

Ⅰ-2 計画の策定	
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(2) 計画が適切に策定されている。	
Ⅰ-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	a
Ⅰ-2-(2)-② 計画が職員や利用者等に周知されている。	a

評価機関コメント

中長期計画は、法人の計画をベースに、現状分析に基づき課題や問題点を明らかにし、その解決に向けた具体的なものとなっている。年度事業計画にも十分に反映され、実施状況の評価も十分可能な状況と判断できる。中長期計画・事業計画は職員会議・個別面談・施設経営部会にて評価・見直しが行われている。なお、職員及び保護者に対して、計画内容の資料配布の上で説明が行われ、周知状況の確認まで行われている。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ		
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a

評価機関コメント

管理者の役割と責任は「組織規則」に明文化され、年度当初の職員会議・保護者会にて職員及び保護者に対する周知が図られている。園長は各種研修会にも参加し、法令等の理解及び職員への周知に向けた取組みも確認できる。保護者からのアンケート及び職員の意見も含めての自己評価も実施され、保育サービスの向上に努めている。人員配置への配慮など含めて働きやすい環境づくりなど、具体的な取組みも展開できている。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	b

評価機関コメント

児童福祉事業等の動向や地域の特性・ニーズ等は、インターネット情報の活用や行政との連携で把握し、中長期計画及び事業計画に適切に反映されている。定期的に在園児の推移や経営状況を把握し、改善策を検討の上で職員にも周知する仕組みづくりがなされている。事業団本部による内部監査は行われているが、今後は経営改善に資するような外部の専門家の参画を期待したい。

II-2 人材の確保・養成		
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
II-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
II-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	b
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
II-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	b
II-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	b

評価機関コメント

人員体制に関する具体的なプランは明確になっており、勤務評定も実施されているものの、人事考課基準等の職員への開示は行われていない。職員の就業状況に関するデータは園長が毎月チェック・分析し、職員との個人面談等を通じて改善がなされている。また、福利厚生センターへの加入などの福利厚生事業への取組みもなされている。職員に求める基本姿勢や専門性は、職員研修規程や中長期計画に明示されているが、個別の職員の知識・技術水準・技能の必要性等を把握した上で研修計画策定には至っていない。研修報告書は作成され、報告の場も設定され、さらに研修成果の評価・分析及び次の計画への反映等も適切に実施されている。実習生受入に関するマニュアルの整備は適切に行われているが、受入の意義・方針等は明文化されておらず、職員への説明は十分とは言えない。実習用のプログラムの整備にも取り組んでいただきたい。

II-3 安全管理		
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
II-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b

評価機関コメント

事故対応マニュアルは整備され、職員への周知も図られ、職員参加による定期的な安全確保に対する検討会も実施されている。事故事例集は職員会議等を通じて整備がなされ、事故防止に取り組んでいることは確認できるが、事故発生 of 要因分析及び防止策の検討については十分ではなく、職員に対しての研修も充実しているとは言い難い。

II-4 地域との交流と連携		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	b
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	b
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	b
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

評価機関コメント

活用できる社会資源や地域情報の収集、掲示板やホームページの活用による保護者等への情報提供は実施され、園児と地域老人会との交流も図られている。しかし、中高生の体験などや地域との交流は十分とは言えず、ボランティア受入の意義や方針は明文化されていない。加えてマニュアルの整備及び研修も十分とは言えない。また、保育に関する社会資源の機能や連絡方法の体系的な整備がなされておらず、関係機関や団体との連携が重要であることの認識はあるものの、定期的な連携の機会が確保されていない。なお、関係機関との連携に基づく、具体的な福祉・子育てニーズの把握には積極的に取り組まれており、具体的な事業・活動として中長期計画及び事業計画に反映されている。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	b
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	b
Ⅲ-1-(2)-②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

評価機関コメント

利用者尊重の方針は明示され、勉強会なども実施され、虐待防止の職員への周知も徹底されている。しかし、個々のサービスの標準的な実施方法が充実しているとは言い難く、これらの基本方針が反映される仕組みについては今後の課題である。利用者満足の向上を目指す姿勢は文書で確認できる。年1回のアンケート調査、年2回の保護者会で情報の収集を行い、まとめ・分析検討も行われ、その結果を保護者会で報告もしている。利用者への個別の相談面接や聴取は行われておらず、いまま少しの充実を期待したい。意見や苦情を述べる機会があることを文書で配布したり、掲示したりしている。苦情解決の体制は整備され、検討内容や解決結果は保護者会で配布され、欠席者にも後日配布しているなど、適切な対応が行われている。

Ⅲ-2 サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	c
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

評価機関コメント

サービスの質向上への取り組みは、数年にわたり自己評価を行い、その結果を分析・検討され、担当も明確である。結果は文書化され、職員会議・保育部会で全員に説明され共有されている。なお、課題に対する改善策は示され、一定の実績も見受けられるが、「努める」「思います」などの語尾が多く、やや具体性にかける嫌いがみられるので、計画的実行と更なる具体化が出来ると他の模範になろう。個々のサービスの実施について、具体的な標準が示されているとはいえない。具体的なサービスの実施は、口頭で会議などで行われており、明文化が望まれる。一人ひとりの記録は整備され、計画に沿ったサービスがおおむね実施されていることが確認できる。記載内容も項目が網羅され妥当である。記録の管理も適切で、保育部会で全職員が情報を共有しており、議事録で確認できる。なお、毎日、連絡会及び口頭でも日々の情報共有が図られているが、記録上確認したことが分からないので工夫を期待したい。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続		
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	b
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b

評価機関コメント

サービスの選択に必要な情報の提供は、ホームページやパンフレット・入園のしおりなど適切である。見学は随時受け入れ、体験利用は一日保育として、毎月第二木曜に行っている。園庭は毎日開放している。サービス開始にあたり同意を得ているのは、一時保育と特定保育であり、利用申し込みの形で行っている。保育は措置サービスであり、議論の分かれるところではあるが、通常の利用形態でも、説明と同意をとる方向性が望ましいと史料されるので、検討されたい。他の保育園への変更にあたり、園児の状況を文書で引き継いだり、担当を明確にしたりしていない。なお、口頭での連絡を他施設にするなどの実績はある。組織的な対応を期待したい。その際は、個人情報保護法への配慮を十分されたい。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定		
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	b
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b

評価機関コメント

組織で定めた統一した様式のアセスメントは行われていない。保育計画は、「留意事項」として2ヶ月ごとに見直され、通年でよく作成され実施している。他方、「計画」のもとになるアセスメントは、文書の形で残っておらず担当保育士に一任されている。アセスメントに基づいた一連の流れを、明確な形でつくるのが望まれる。一人ひとりのサービス実施計画はあるが、部門横断的な関係職員が関与した形での手順や保護者の意向・同意を得た計画には至っていない。今後の仕組みの整備を期待したい。

児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準（付加基準）

判断基準項目		評価結果
A-1 子どもの発達援助		
1-(1) 発達援助の基本		
A-1-(1)-①	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	b
A-1-(1)-②	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	b
1-(2) 健康管理・食事		
A-1-(2)-①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	b
A-1-(2)-②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-③	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	b
A-1-(2)-⑤	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-1-(2)-⑥	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
A-1-(2)-⑦	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-1-(2)-⑧	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
1-(3) 保育環境		
A-1-(3)-①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
A-1-(3)-②	生活の場に相應しい環境とする取り組みを行っている。	b
1-(4) 保育内容		
A-1-(4)-①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
A-1-(4)-②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
A-1-(4)-③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	b
A-1-(4)-④	身近な自然や社会とかがかわれるような取り組みがなされている。	a
A-1-(4)-⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a
A-1-(4)-⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-1-(4)-⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

	A-1-(4)-⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
評価機関コメント		
<p>(1) 発達援助の基本 保育計画と基本方針との関係はあるが、意識的に対応する仕組みになっているとは言い難い。指導計画の評価はあるが、定期的ではないので検討を期待したい。</p> <p>(2) 健康管理・食事 園児の健康管理は、「健康チェック表」や職員の対応で実質的に行われていると評価するが、具体的な健康管理に関するマニュアルがないので見直されたい。健康診断・歯科健診は実施され確実に対応している。感染症発生時の対応マニュアルは在り、その内容も妥当であるが、感染症発生時の保護者への通知を適切に実施されたい。食事を楽しむ工夫、喫食状況の把握など適切である。献立等も工夫している。食生活充実のための家族との連携、アレルギーへの対応も良い。</p> <p>(3) 保育環境 保育環境については、築40年のハード的側面から限界があるが、安全面や清潔維持などよく工夫されている。建て替えの計画もあるが、時間がかかるようなので一層の工夫を期待したい。</p> <p>(4) 保育内容 保育内容については全般に良く出来ている。ハード的要因が関係するものは評価がbがつくが、よく工夫され努力されている。保育士のソフト的なノウハウや努力は高く評価できる。また、障害児への対応も施設としての限界がある中、専門的知識のある職員を採用するなど適切に対応している。</p>		

A-2 子育て支援

2-(1) 入所児童の保護者の育児支援		
A-2-(1)-①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
A-2-(1)-②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
A-2-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
A-2-(1)-④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
A-2-(1)-⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	b
2-(2) 一時保育		
A-2-(2)-①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

評価機関コメント

- (1) 入所児童の保護者の育児支援
送迎時の対話や連絡帳の活用など情報交換に努めている。記録も残されており、保護者の保育参加の機会をつくるなど適切である。虐待防止についても良く対応していると見受けしたが、マニュアルに基づく研修を充実させ、虐待発見時の対応の仕方については、周知の徹底を図られたい。
- (2) 一時保育
一時保育については良く対応し適切である。

A-3 安全・事故防止		
3-(1) 安全・事故防止		
A-3-(1)-①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a
A-3-(1)-②	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	b
A-3-(1)-③	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	b
A-3-(1)-④	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
A-3-(1)-⑤	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a

評価機関コメント

調理場の衛生管理についてはマニュアルがあり、毎月保育部会で検討されている。食中毒発生時のマニュアルはあるが、発生時の感染拡大防止規定の充実を検討されたい。リスクマネジメントに関するマニュアルが作成され、事故報告書に基づき、類似事故の未然防止策も策定されている。しかし、発生要因の分析や防止策の実施状況や実効性の検証に至っていない。また、ヒヤリハット報告制度が整備されていないので、検討されたい。

A-4 子どもの発達・生活援助		
4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる	a

評価機関コメント

体罰防止などよく取り組んでいる。